

平成 19・20 年度 土木学会複合構造委員会 第 5 回幹事会議事録（案）

1. 日 時：平成 20 年 2 月 29 日（金）13:00～16:30
2. 場 所：那覇レクセンター 研修室
3. 出席者：中島委員長，横田副委員長，渡辺幹事長，大山幹事，大垣幹事，葛西幹事，島幹事，杉浦幹事，田中幹事，西崎幹事，古市幹事，本間幹事，溝江幹事（欠席者：池田幹事，武知幹事，山口幹事，岡田事務局）（敬称略）
4. 配布資料
資料 幹 5-1 平成 19・20 年度 第 4 回幹事会議事録（案）
資料 幹 5-2 平成 19・20 年度 第 2 回委員会議事録（案）
資料 幹 5-3 平成 20 年度「重点研究課題（研究助成金）」申請書
資料 幹 5-4 平成 19 年度委員会予算
資料 幹 5-5-1 平成 20 年度全国大会開催に伴う研究討論会企画募集について
資料 幹 5-5-2 平成 19 年度土木学会研究討論会一覧
資料 幹 5-6 複合構造標準示方書小委員会 設立趣意書
資料 幹 5-7 複合構造委員会成果の公表に関する申し合わせ
資料 幹 5-8 複合構造委員会運営細則
資料 幹 5-9 複合構造標準示方書 第 1 ドラフト
資料 幹 5-10-1 複合構造の現状調査小委員会 報告書
資料 幹 5-10-2 複合構造の現状調査小委員会 講習会の計画
資料 幹 5-10-3 複合構造の現状調査小委員会 行事計画書
資料 幹 5-10-4 複合構造の現状調査小委員会 出版企画書
5. 議事次第
 - (1) 第 4 回幹事会議事録案・第 2 回委員会議事録案の確認（資料 幹 5-1，幹 5-2）

渡辺幹事長より第 4 回幹事会議事録案について説明があり了承された。また，平成 20 年度の土木学会全国大会から，“革新的構造材料”を“複合構造物”のセッションに集約することになった件について，既に関係者にはメールで通知を行ったが，念のため，投稿締切前に，再通知することになった。

大山幹事より第 2 回委員会議事録案について説明があった。
 - (2) 平成 20 年度重点研究課題申請（資料 幹 5-3）

渡辺幹事長より平成 20 年度重点研究課題の申請について説明があった。

 - ・ 1 月 31 日を期日として委員からの応募課題案を受け付けたが，課題案の申請が無かったため，第 2 回委員会での審議に従い，複合構造標準示方書作成のための活動費として申請を行った。
 - ・ 申請書内の研究の体制については現時点では仮決定である。
 - (3) 平成 19 年度委員会予算執行状況（資料 幹 5-4）

渡辺幹事長より平成 19 年度委員会予算の執行状況について説明があった。

 - ・ FRP 補修補強小委員会よりなされた予算増額の要望に対し，予備費から補填することとする。
 - ・ 委員会予算に残額が生じた場合に，今後の委員会活動のために，複合構造委員会にて過去に出版した図書等の購入に残額予算を充てることを認めることとした。

- ・第7回複合構造の活用に関するシンポジウムで得た収益の50%は次年度予算とする。

(4) 平成20年度全国大会研究討論会（資料 幹5-5-1, 幹5-5-2）

渡辺幹事長より平成20年度全国大会研究討論会企画募集について説明があった。

- ・担当は西崎幹事とする。
- ・FRPをテーマにすることができるのではないかと意見から、FRP橋梁小委員会と新材料小委員会が共同して担当することを西崎幹事と大垣幹事とで検討することとなった。

(5) 日韓台ジョイントセミナー

横田副委員長より平成20年11月に予定している台湾での日韓台ジョイントセミナーについて説明があった。

- ・申請していた「土木学会学術交流基金」ジョイントセミナー助成については期待できない状況であるため、参加は自費負担となる可能性がある。
- ・当初、11月7日もしくは14日での開催を検討していたが、11月19～21日にEASEC2008が台北で開催されるため、これに合わせて開催できないか検討している。
- ・台湾での幹事会開催については幹事の参加状況をみて決定する。そのため、各幹事のEASEC2008への参加を前向きに検討願うこととなった。

(6) 複合構造標準示方書小委員会の設立（資料 幹5-6）

渡辺幹事長より複合構造標準示方書小委員会の設立趣意書について説明があった。

- ・上田委員に委員長就任の快諾を、また、田中幹事に幹事長就任の快諾をいただいた。なお、委員については幹事会案を参考にして、田中幹事が上田委員と相談の上進めてもらうこととした。
- ・本小委員会の下に、示方書を作成するための部会を設置するのがよい。
- ・性能照査指針小委員会の成果は標準示方書の原案の作成とし、原案の完成をもって活動を終了するのがよい。
- ・性能照査指針小委員会委員長である中村委員に、上記幹事会意見についてお伺いするとともに示方書小委員会副委員長兼部会主査の就任を要請することとなった。
- ・示方書作成部会の設置について、上田委員の了解を得た後、コードライトになれた委員を加えるなど、中村委員と渡辺幹事長に部会の委員構成を再考していただくこととした。

(7) 複合構造委員会運営細則の改正、複合構造委員会成果の公表に関する申し合わせ（資料 幹5-7, 幹5-8）

横田副委員長より運営細則の改正案ならびに成果の公表に関する申し合わせについて説明があった。

- ・次回の第3回委員会に幹事会の案として提出する予定である。
- ・幹事会の期間が2年となっていることから、研究小委員会の活動期間も一期2年とするのがよい。ただし、2年以内の活動延長を1回のみ認めることとする。
- ・研究小委員会の成果の公表は活動期間内に行うことを原則とするのがよい。また、成果品は講習会テキストでもよい。ため、運営細則にある記述を「・・・活動終了時には、報告書を作成するとともに、・・・」とすることとなった。
- ・修正意見があったら次回幹事会までに連絡することとなった。

(8) 複合構造標準示方書の原案（資料 幹5-9）

渡辺幹事長より複合構造標準示方書第1次ドラフトについて説明があった。

- ・3月26日に開催予定の性能照査指針小委員会終了後に、最新ドラフトを幹事会メンバーに送付

する。

- ・上記最新ドラフトを新設の示方書小委員会に提出し、審議していただく。

(9) 現状調査小委員会の活動成果報告（資料 幹 5-10-1～幹 5-10-4）

葛西幹事より現状調査小委員会の活動成果報告について説明があった。

- ・活動成果をまとめた報告書を作成した。本報告書を基に複合構造レポートを作成する予定である。ベースとなる本報告書について意見があれば、葛西幹事に連絡することとなった。
- ・複合構造レポートの発刊に合わせ、講習会を7月末に新材料小委員会と共同で開催する予定である。行事計画書、出版企画書については再考の必要がある。
- ・現状調査小委員会編集の複合構造レポートは“02”とし、島幹事、古市幹事、本間幹事が査読する。新材料小委員会編集の複合構造レポートは“03”とし、池田幹事、大山幹事、武知幹事が査読する。いずれも4月中旬に査読を担当する幹事にドラフトを提出する。査読期間はGW明けまでとする。
- ・学会誌の会告案については作成後、幹事会メーリングリストで配布する。

(10) その他

- ・日経コンストラクションからの取材の申入れについて、中島委員長が対応することとなり、回答作成にあたり、幹事メンバーに協力の要請がなされた。
- ・複合構造委員会に表彰制度を設けてはどうかとの意見が出された。
- ・今後の幹事会運営について、会議時間を短縮するため、開催頻度をおおよそ月1回とすることとなった。

第6回幹事会 2008.4.11（金）14:00～16:00（場所 土木学会）

第7回幹事会 2008.5.9（金）時間、場所未定

第3回委員会 2008.6.20（金）or 6.27（金）時間未定（場所 土木学会）

以上（記録・文責 溝江 慶久）